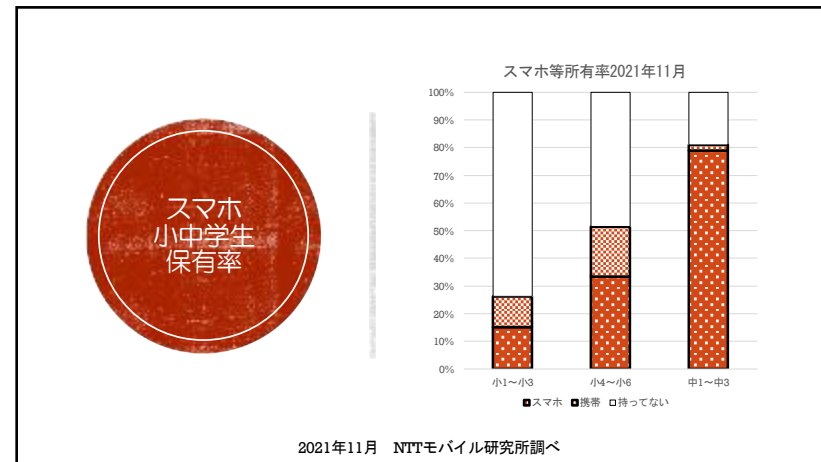


子供をネットトラブル や被害等から守るため 保護者ができること

星槎道都大学 学長補佐 教授 (情報科学) 由水 伸
図書館長・学長補佐 (ITセキュリティ担当)

1



2

Twitter (ツイッター)	世界4.3億人※2022/1	日本5900万人※2022/1
Facebook (フェイスブック)	世界29.億人※2022/6	日本2600万人※2019
LINE (ライン)	世界2億人※2022/9	日本9300万人※2022/9
Instagram (インスタグラム)	世界10億人※2022/1	日本4600万人※2022/1
YouTube (ユーチューブ)	世界26億人※2022/1	日本7000万人※2022/10
TikTok (ティックトック)	世界10億人※2022/11	日本1700万人※2022/11

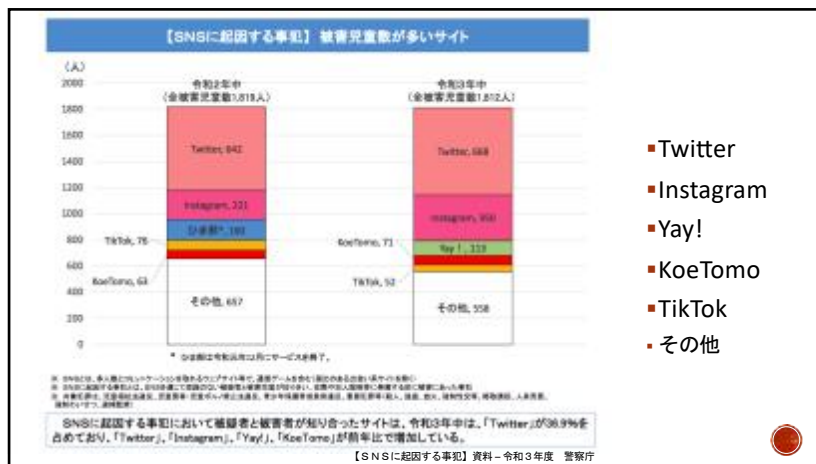
SNSと利用者数

3

SNSと性被害

- 児童買春
- 児童ポルノ
- 児童に性的な勧誘
- 児童の性的搾取
- 特に問題 「児童が自らを撮影した画像に伴う被害」 (4割)

4



5

SNSといじめ

いじめの定義

いじめ防止対策推進法（平成25年）

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの

6

SNSを使ったいじめ

- うわさ話（友人同士で噂を共有）
- 仲間はずれ（SNSメンバー外し）
- 無視（既読スルー）
- 悪口送信（文面でのいじめ）
- 被害者の個人情報転載
- 写真や動画の撮影と送信
- etc.

2021年度の小中高等におけるいじめの認知件数
615,351件（過去最多）

タブレット、PC、スマホを使ったいじめ
21,900件（前年比3,030増）

「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」
令和4年10月27日 文部科学省 より

7

ネット利用に関わる諸問題

- 個人情報漏洩
- 心身への影響とネット依存
- 学習・成績への影響
- 課金・料金
- 物品売買
- その他

8

個人情報漏洩

セキュリティ欠陥または自発的に送信などで発生

犯罪のターゲット、迷惑情報の大量受信の可能性

- 個人を特定できそうな情報は投稿しない - 写真の背景なども要注意
- アカウントIDとパスワードの使い回しは極力避ける - 複数のSNSから個人を推定
- 複数のメールアドレスを用意し、用途別に使い分ける
- 不要な会員（利用）登録はしない - 使わないものは整理する
- 不要不急のアンケートに答えない
- 無料のアプリはスパイウェアの可能性があるので入手時はよく確認すること



9

心身への影響とネット依存

- スマホを手放せない、スマホがないと落ち着かない
- 食事中もスマホ、ベッドに入ってもスマホ
- ゲームに夢中で周りに関心がない
- SNSの書き込みが気になる
- 誹謗中傷による心的被害
- 家族や友達と会話をしない
- 十分な睡眠時間が取れない
- etc.

視力障害、睡眠障害
注意力低下による事故
コミュニケーショントラブル



10

学習・成績への影響

学習時間の不足

睡眠時間の不足

学習意欲の減退

宿題の安易な解答（ネット検索でコピー）

学力の向上と低下は使い方次第



11

課金・料金

- ゲーム内で特殊アイテムを確率的に入手する「ガチャ」で高額課金の例

- [未成年の子どもがスマホゲームで高額課金してしまった！ - 2021年10月8日 消費者庁](#)

基本的に「未成年者取消権」によってその契約を取り消すことができる。
オンラインゲームでは未成年者が契約したことを証明することが難しい。
親の所有物の場合、管理責任が問われる。（クレジットカードなども）



12

物品売買

フリマアプリやショッピングサイトで子どもが勝手に売買する
メルカリ アマゾン ヤフオク etc.

- 民法上、**未成年者は原則として契約をする能力がない**。
この場合「キャンセル不可・返品不可」は無効となる。
- 「親は同意しています」「ぼくは20歳です」など、
子どもがウソをついていた場合は例外となり個別交渉が必要となる。
- **子どもが親のクレジットカードで決済できないようにするなど**
事前対策が必要である。

13

その他の問題

ニセ情報の蔓延は、子どもに限らず、深刻な事態に繋がる可能性

- 災害時のデマや政治・思想の誘導（アメリカ大統領選挙の例）
- 善意を利用したチェーンメール
- SNS上の肯定的な意見同士で物事を判断する**エコーチェンバー**現象

誹謗中傷 ～ 一方的な正義感から他人を執拗に攻撃する事態が多発

- 侮辱罪の法定刑が改正された
2022年6月の刑法改正で、「拘留又は科料」に加え、
新たに「懲役刑」「禁錮刑」「罰金刑」が加わった。

知的財産権保護 ～ 著作権、肖像権など

14



フィルタリング
家庭内のルール作り
学校やPTAの協力

15

青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律 平成二十年法律第七十九号

(保護者の責務)

- 第六条 保護者は、インターネットにおいて青少年有害情報が多く流通していることを認識し、自らの教育方針及び青少年の発達段階に応じ、その保護する青少年について、インターネットの利用の状況を適切に把握するとともに、青少年有害情報フィルタリングソフトウェアの利用その他の方法によりインターネットの利用を適切に管理し、及びその青少年のインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努めるものとする。
- 2 保護者は、携帯電話端末等からのインターネットの利用が不適切に行われた場合には、青少年の売春、犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに特に留意するものとする。

要約（保護者の責務）

- インターネットには有害情報が多いことを認識すること
- こどものネットの利用状況を適切に把握すること
- フィルタリングソフトを利用し、ネットの利用を管理すること
- こどものネットを活用能力を習得させること
- 2 ネット利用では売春、犯罪被害、いじめ等様々な問題が生じることに特に留意すること

16

フィルタリング

携帯電話事業者は青少年が使用者の場合、原則、サービス提供の義務がある

子どもに見せたくないネット情報にアクセス制限をかける

出会い系やアダルト、薬物、暴力、犯罪、などの有害サイト

リンクをうっかりクリックして誘導されることを防止できる

携帯電話事業者は青少年が使用者の場合、原則、サービス提供の義務がある

万能ではない ~ SNS、アプリやゲーム内通信、SMSなどは対象外

17

ペアレンタルコントロール

スマホを与える前に、子どもの利用を想定した機器の設定を行なっておく

- iPhoneの場合は「**スクリーンタイム**」設定

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201304>

- スマートフォン（Android）の場合は「**Googleファミリーリンク**」アプリ

https://families.google/intl/ja_ALL/familylink/

18

アプリの利用・設定について

- アプリの利用規定の年齢制限は必ず守ること
Twitter、Instagram、Facebook、TikTok、Koetomoは13歳以上、LINE、Yay!は12歳以上
※あくまで利用規定上のものでR1、家庭内、地域内のルールに配慮する
※SNSは小学生のうちは利用禁止と考える
- アプリ内に子どもの保護のための設定があるか、確認する
- プロフィール欄に個人を推測できる情報を書かない
出身校、趣味、部活動、好きなアニメやゲーム、バンド名など
- アプリを規制しても、ブラウザでWebサイトからアクセスできる場合があることに注意
- ゲームに関しては利用時間の制限について約束をする
- 子どものSNSについては「友だち」登録をして見守るのもひとつの方法
- 知らない人からのアクセスに悪意がある場合を十分に警告し、安易に返信させないこと

19

スマホやネット利用の適正化

- スマホを使っても良い時間・ダメな時間の習慣付け
- 食事中はスマホを使わない
- 自室にスマホを持ち込まない
- 子どもの行動を否定せず、一度おなじことをやってみて共通話題づくり
- 子どものゲームに参加してみる
- 既得権が生まれる前にコントロールすることが重要
- 自己肯定感の育成で、自信をもたせる

20

ルールの作り方（具体的に）

出典：話し合っていますか?家庭のルール ～安全で安心なインターネット利用のために～ 文部科学省

- 「ルールがトラブルから自分自身を守ってくれる」ことをきちんと伝える
- お互いに納得できるよう、話し合って作る
- 子供が守れるルールを作る
- 具体的なルールを作る
- 守れなかったらどうするか決めておく
- トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく
- 子供の成長に合わせてルールを見直す
- 生活リズム等の変化に合わせてルールを見直す



21

家庭での ルールづくり

- 入手前、はじめが大切
- 使用時間帯、使うアプリ
- 定期的な利用報告・検証
- 家族コミュニケーション時間の確保
- 友人知人とのやりとりチェック
- 中学校までは保護を最優先で



22

学校・地域・家庭の協力

「家庭のルール」の実効性は地域に依存する

地域の基本部分の共通ルール

繰り返しの学習手段の提供

学校やPTA、地域社会による危険情報の共有



23

 まとめ

24